

評論家 坂西女史を招き

市婦人会総会開催

十五日 大坪校で

伊万里市連合婦人会では去る十五日大坪小学校講堂に各町代表七百余名が集まり、本年度定期総会を開催した。先ず三十三年度の行事並びに会計報告の後、女性評論家として有名な坂西女史から「婦人団体は曲り角に来てゐる」のテーマで、約二時間余にわたる講演を聞き、なお午後三時から伊万里中学校グラウンドで、市民体育祭に備えマスケームのけいこを実施した。

坂西女史の講演要旨は次の通り、

婦人団体は今「曲り角」にきている。戦後日本の女性性が参政権を得、一時は非常に政治に目覚めていたが、

市では三月十一日から同二十六日まで、各地区毎に母性表彰を実施した、即ち昭和三十三年四月一日から同三十三年三月末日迄の出生の乳児の母親又は哺育者であること。

国民健康保険の被保険者又は家族の資格がある者であること。

③検診によく参加し、乳児の発育も良好な者であること。

母性表彰

今年で七回目

右の資格を有する者の中から一〇〇名を選んで表彰されたもので、今年で七回目の表彰である。

各町別の表彰者次の通り、

伊万里町三〇名、二里町六名、東山代町一〇名、山代町一八名、黒川町六名、波多津町八名、瀨波多町六名、松浦町七名、大川町九名

また、脇田町、力武勝幸、東利夫、南波多町山口静夫の三名には皆勤賞が贈られ更に黒川町の坂本博行、坂本国増、小島作一の三名には努力賞が授与された。

二十七日

果樹講習所修了式

昨年四月十一日開講以来延三十日間の講習並びに実習を終えた才三回果樹講習所では、さる二十七日午前十時より柳井町公民館で修了式を挙行政した。

修了者は全部で五十四名で主な科目の受講日割は次の視察(二日)、計三十日、

春たけなわ

(香橋神社の桜)



四月十四日	波多津町	全	十六
四月十七日	黒川町	全	十七
四月二十一日	南波多町	全	二十二
四月二十二日	大川町	全	二十七
四月二十八日	松浦町	全	三十三
五月二日	二里町	全	三十四
五月二日	東山代町	全	三十七
五月六日	山代町	全	六十七
五月八日	山代町	全	七十八
五月十一日	大川内町	全	八十一
五月十二日	大坪町	全	八十二
五月十三日	大坪町	全	八十三
五月十四日	山代町	全	八十四
五月十五日	山代町	全	八十五
五月十六日	松島町	全	八十六
五月十八日	立花	全	八十八
五月十八日	新天町	全	八十九
五月十九日	山代町	全	九十
五月二十日	東山代町	全	九十一
五月二十一日	二里、大川町	全	九十二
五月二十九日	伊万里町	全	九十九

非常災害の電報料金は免除されます

今回、電信電話営業規則が改正され、航空機、船舶が、免除されることになりました。発信人は個人、法人いずれでもかまいませんが、直接その事実を知つた者に限られ、原則として電々公社所属電報取扱局で受付けられることになっていす。

すなわち通報の内容は次のいずれかに該当するものでなければなりません。

①船舶又は航空機が重大、かつ急迫の危険に陥り又は陥るおそれがあることを通報するもの。

②船舶又は航空機の航行に對する重大な危険を予防するために必要な事項を内容とするもの。

③天災事変その他の非常事態が発生し又は発生するおそれのある場合において人命財産の危険を通報するもの。



23日 県知事 選挙投票日

三月一日はビキニ被災五周年にあたり、原水爆禁止日本協議会では、静岡でもこの日を記念し「原水爆禁止日本協議会」の悲願を広く一般に訴えるため、佐賀市佐嘉神社前広場に於て大会を開催、なほ全国各地でも「平和共存」を目指し各種挙行、殊に大町原水協では

三月一日はビキニ被災五周年にあたり、原水爆禁止日本協議会では、静岡でもこの日を記念し「原水爆禁止日本協議会」の悲願を広く一般に訴えるため、佐賀市佐嘉神社前広場に於て大会を開催、なほ全国各地でも「平和共存」を目指し各種挙行、殊に大町原水協では

香典返しのお知らせ

月日	御寄贈額	住所	氏名	死亡者名
二月二十八日	壹万円	瀨戸町	吉武末雄	母チエ殿
三月五日	貳万円	南波多町府招	緒方一男	姉サカ殿
三月十六日	参千円	伊万里町(今町)	犬塚喜代次	母ナツ殿
三月二十三日	参千円	山代町橋久津	前島ミネ	長男定殿
三月二十七日	五千円	伊万里町(本町)	太田尾隆久	妻チホ殿

 梶原 清 (二九) 無所属 新	 武藤 庄三郎 (七四) 無所属 前	 小島 敬助 (五八) 無所属 前	 田中 忠兵衛 (六五) 無所属 元	 川平 武盛 (三六) 無所属 新	 高田 金治郎 (六二) 無所属 新
 田代 正男 (四五) 無所属 前	 山口 精三郎 (五三) 無所属 元	 中島 八郎 (六六) 無所属 前	 満江 光次 (五八) 無所属 前	 久重 路重五郎 (三九) 無所属 前	 山田 栄二郎 (四八) 無所属 新
 大塚 正人 (四九) 無所属 前	 真野 仁比古 (五二) 無所属 新	 川原 巽 (四四) 無所属 新	 高添 門司 (六一) 自由民主党 前	 岡口 正雄 (四九) 無所属 新	 山田 栄二郎 (四八) 無所属 新

『市広報』保存コンクール!

市制施行早五周年……『市広報』も本號で六十号を迎えることになりました。隔靴掻痒ながら御協力いただいた点衷心感謝申し上げます。なお五周年を記念し、『市広報』保存コンクールを催したいと存じます。最も多く保存しておられるお方三名を選び、表彰致したいと存じます。お方は住所氏名と保存部数を係までお知らせ下さい。

0144